

会議の名称	議会改革特別委員会	開催月日・令和4年6月28日 開会時間・午前・午後1時01分 閉会時間・午前・午後1時12分
出席者	野口 佳宏 糟谷 玲子 柴田 喜朗 安井 智子 花村 隆 星野 明	
欠席者		
オブザーバー	議長 南谷 佳寛 副議長 後藤 國弘	
傍聴者		
説明のために出席した者	堀議会事務局長 藤井議会総務課長、大下議会総務課課長補佐、中村同課主任	
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年度の協議事項について ○ その他 	

野口委員長

それでは議会改革特別委員会開会をいたします。

本日のお話は令和4年度の協議事項について、その他となっております。まず初めに平成29年以降の議会改革特別委員会における主な活動記録についてちょっとご説明を申し上げます。お手元にお配りしました資料につきましては、表側が委員会の概要と改選後の活動経過、裏面が平成29年度以降の主な活動記録となっております。主な活動記録に基づき説明をさせていただきますが、平成29年3月に議会機能の充実と議会の活性化を図るためということで議会改革特別委員会が設置をされました。そのときの主な設置目的としましては、議会基本条例の制定を目指すということでありました。その後、議会基本条例につきましては、パブリックコメント等を行いまして、平成30年12月定例会において可決され、平成31年4月に施行とされております。平成30年度には市民との意見交換会の開催を決定し、平成30年と令和元年の8月に、昨年度は新庁舎の開庁に合わせてオンラインで開催をしております。意見交換会の今年度の開催方法につきましては、現在、広報広聴委員会にて検討を行っているところであります。令和元年度につきましては、広報広聴委員会と予算決算特別委員会の設置を決定し、また、議会のICT化に向け、令和2年3月定例会より本会議、委員会等においてIT機器の使用についての運用が開始されております。令和3年度につきましては、前年度に引き続き、議員定数についての協議を行い、令和4年3月の全員協議会で一通り結論を出したところでございます。また、開かれた議会の推進のため、本会議のライブ中継、議案の公開、会議録の公開について協議し、会議の生中継については新庁舎開庁後に開始しております。委員会会議録の公開及び議案の公開については、この4月以降の分について公開することとなっております。新庁舎の議場設備を活用し、議員の一般質問における補足説明などができるよう、大型提示装置の使用についても協議し、この4月から使用できることとなりました。最後に議員活動の活性化や議案のペーパーレス化のため、タブレット端末やグループウェアの導入については、今後調査研究を進めていくこととなっております。以上が議会改革特別委員会設置からの主な活動内容となっております。今日はちょっと今年度、今期1年どうしていくかという話にいいなりますけれども、先ほどお話をしましたが、

ペーパーレス化を進めていきたいということでタブレット端末、グループウェアの導入について調査研究をしていくということは決定をしておりますけれども、他に何かこういうことをやった方がいいんじゃないかということ、こういうことを協議した方がいいんじゃないかという皆様ご意見お伺いをしたいと思っておりますけれども、何かございますか。すいません、案内を出すときにどういうことを協議したらいいかという1文を入れ忘れてしまったので、いきなり振られても困ると思っておりますけれども、何か今現段階で結構でございます。これで1年の協議が全て決定するというわけではありませので、何かございましたら、何かこういうことを改革していきたいということがございましたら。

花村委員

今委員長から計画報告と、そしてまた今年度の考え方について、ペーパーレス化、タブレット、また、グループウェアの導入と発言がありましたけれども、これまでの流れからして、当面その方向でやっていったらいいんじゃないかというふうに思います。

野口委員長

ありがとうございます。他にご意見ありますか。

糟谷委員

先ほども言いましたけど、議員間同士の勉強会をもう少しやってはどうかと思います。それも第三者的な方に来ていただいて、市民の方からも言われましたけれども、議員のレベルを上げてほしいというふうにも言われるんですけども、本当にそのためにも、そういうものをしていったらどうかなというふうに思います。高山市議会さんにちょっと行かさせていただいたんですけど、高山市議会の方は本当に大学の教授がついてお見えになりまして、定期的にいろいろアドバイスを受けながらやってお見えになってすごくうらやましいなというふうに思ったんですけども、羽島市議会もそういうものができれば、もっといろんなことが問題起こる前に解決できるんじゃないかなというふうに思いますので、そういう第三者的な方と何か提携できればなというふうに思っております。そういうのもぜひ協議していただければなと思っております。お願いします。もう一つすみません、一般質問の順番とか、いろいろやっているんですけど、他市町見ますと、代表質問と普通の質問というのが、あまりやられているところが少ないんじゃないかなということで、結構大きなところでも、代表質問なしで、皆さんがくじ引きを一斉にやってみえるとい

	うところもあるんですけど、代表質問とそうじゃない質問という、その差があまりわからないので、そういうのもぜひまた検討していただければなというふうに思います。以上です。
野口委員長	ありがとうございます。外部の講師の方とかとの勉強会と、代表質問と一般質問の差別化じゃないけど、あんまり、今どうなっているんですかね。他の自治体、議会は。全くあれですかね。
糟谷委員	意外とないところあります。
野口委員長	代表質問がない。
糟谷委員	そう。
野口委員長	一議員として質問するというような状態。
糟谷委員	いろんなやり方でやってみえますので、それもちょっと検討してもいいんじゃないかなというふうに思います。
野口委員長	ありがとうございます。他に何かございますか。
柴田委員	ちょっとごめんなさい、これ確認できてないんですけど、傍聴席の関係で、すごい狭いということをお聞きしているんです。あといっぱい来ているときとかに、今多分、車椅子とかで入れるところがあると思うんですけど、もちろんいらっしゃったらそこを使っただけであればいいんですけど、いらっしゃらないときに、そこを開放したらどうかなというところをちょっと議題としていただきたい。
糟谷委員	今大変なときは、モニターの前に椅子を並べて、そこでも見ていただけるようにということはされてみえるみたいなんですけど。
野口委員長	これは、議会改革なの。全協で言ってもらったほうがいい。
柴田委員	定員が少ないですし、狭い。
野口委員長	狭いというのは、傍聴者が入らないってこと。

柴田委員	席の間隔が狭い。
野口委員長	とりあえず他。
	(特になし)
野口委員長	とりあえずご意見出ましたけど、タブレット端末、グループウェアの導入についてと、外部との勉強会を実施していくということと、代表質問と一般質問のあり方、この3つですかね、ちょっと柴田委員の傍聴席が狭いというのは、また別に。
糟谷委員	今初めて聞かれた方もみえますので、また次回のためにまたいろいろ考えていただいて。
野口委員長	<p>随時こういうことやった方がいいんじゃないかってことを受け付けますので、とりあえず今回はこの3点ですね、タブレット端末、グループウェアの導入と外部との勉強会の実施と代表質問と一般質問のあり方についてということととりあえずやっていくということで、いろんな意見は随時受け付けておりますので、何かありましたらご連絡をいただきたいと思います。</p> <p>他に何かございますか。よろしいですか。</p>
	(特になし)
野口委員長	それでは、議会改革特別委員会を終わりたいと思いますありがとうございました。
	【閉会=午後1時12分】